（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北アルプス地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「マレットゴルフの町　池田町」マレットゴルフ普及事業
事業主体 （連絡先）	池田町マレットゴルフ連盟
事業区分	（３）教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,573,020 円（うち支援金：1,208,000 円）

事 業 内 容

信州やまなみ国スポにおいてデモンストレーション競技としてマレットゴルフが当コースで開催されることになりました。そのため国スポのプレ大会として新たな大会を運営し本大会に備えたいと考えています。近年マレット人口は減少の傾向にあり、国スポ開催に伴い多くの地域住民にマレットゴルフの楽しさ、生涯スポーツの普及を池田町から行いたい。
そのためコースの魅力向上のため一部コースを整備し、マレットゴルフの普及と町外から来町される方から地元住民まで楽しくプレーできる環境を整える。

（活動写真）



【三世代大会の様子】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。
新たなマレットゴルフ人口を獲得するために、初心者が楽しめるコース（平坦・芝生内コース）を設定し、親子・三世代・障がい者大会を開催しました。大会には小学生から 30 代くらいまでの若い方約 40 名が参加し、みんな楽しくプレーをしました。
参加者の中には、初心者コースだけでは物足らず、隣接にある本コースで楽しむ参加者もいたので、アルプス広場マレットゴルフ場の認知と若干ではあるがマレットゴルフ人口の増加につながった。
会員としては大会運営の経験も積むことができ、今後の大会、国スポへ向け準備を進めることができました。

【目標・ねらい】

①若者にマレットゴルフを体験させる。次世代の競技者の発掘。
②様々な大会を開催することで令和 10 年度国スポ大会運営に備える。

※自己評価【Ｃ】

【理由】
周知についてチラシだけでなく、ＳＮＳ等を活用した周知により、親子等の参加を増やしたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。
今回の大会開催にあたり、100 人以上の参加者を期待していたが、実際には 66 人の参加でした。最初から大勢の参加は無理だろうと考えていたので、約 66 名の大会参加は上出来に近い。大会に参加した方に口頭でアンケート調査を行ったところ、マレットゴルフは楽しかったので機会があれば参加したい声が殆どでした。しかし、マレットゴルフ＝高齢者のスポーツのイメージがあり自分からは積極的にはプレーしないという意見もありました。今後は今回の大会（親子・三世代）の機会を増やし、高齢者スポーツのイメージを打開するように大会を継続して、マレットゴルフ人口を増やし国スポを迎えたいと思います。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある